

平成31年度 農林水産関係予算概算要求のポイント

農林水産省は、攻めの農林水産業を展開し成長産業にするとともに、美しく伝統ある農山漁村を次世代に継承するため、「農林水産業・地域の活力創造プラン」等に基づく農林水産業全般にわたる改革を着実に実行するため、総額2兆7,269億円（対前年度比118.5%）の平成31年度農林水産関係予算を概算要求した。その中から、酪農の競争力強化に関連する主な予算を紹介する。

1. 酪農の経営安定対策

加工原料乳（脱脂粉乳・バター等向け、チーズ向け及び生クリーム等の液状乳製品向けの生乳）について生産者補給金を交付するとともに、指定事業者に対し集送乳調整金を交付する。また、加工原料乳の取引価格が低落した場合の補填を行う。

(1) 加工原料乳を対象とする生産者補給金等の交付

加工原料乳生産者補給金等（所要額）
36,292（前年度36,292）百万円

「畜産経営の安定に関する法律」に基づき、生乳の再生産の確保と全国の酪農経営の安定を図るため、加工原料乳について生産者補給金等を交付する。

(2) 加工原料乳の取引価格が低落した場合の補填

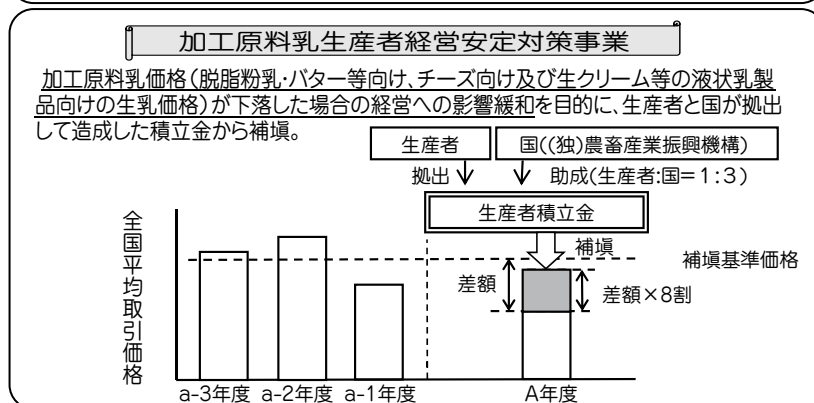
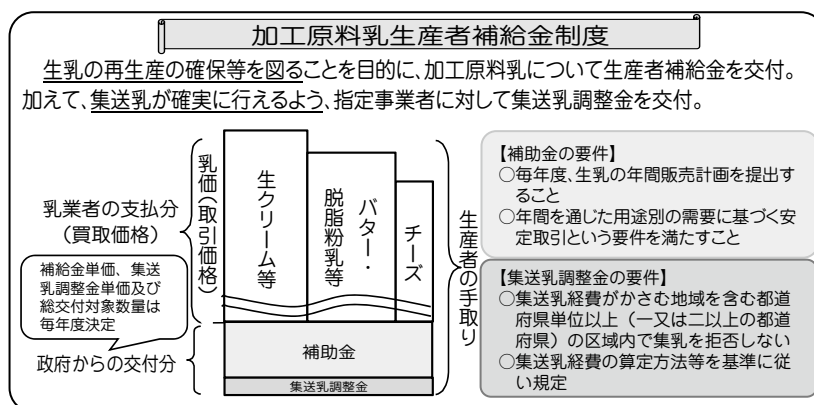
加工原料乳生産者経営安定対策事業の継続

加工原料乳の取引価格が補填基準価格（過去3年間の取引価格の平均）を下回った場合に、生産者に補填金（低落分の8割）を交付する事業を引き続き実施する。

2. ICTを活用した畜産経営体の生産性向上対策

平成31年度予算概算要求額22,395百万円の内数

酪農家や肉用牛農家の労働負担軽減・省力化に資するロボット、AI、IoT等の先端技術の導



入や、畜産農家に高度かつ総合的な経営アドバイスを提供するためのビッグデータ構築を支援する。

(1) ICTを活用した畜産経営体の生産性向上対策

畜産農家の省力化・生産性向上を図るため、以下の取組を支援する。

- ①搾乳ロボット・発情発見装置等のICT関連機械の導入
- ②畜産農家のICT化に向けた調査
- ③IoT機械装置の規格にあった家畜生産等の推進

(2) 全国データベースの構築

生産関連情報を一元的に集約する全国データベースの構築及びデータベースに基づき高度な経営アドバイスを提供する体制の構築等を支援する。

3. 畜産生産力・生産体制強化対策事業

平成31年度予算概算要求額 1,601（前年度 1,496）百万円

肉用牛・乳用牛・豚の改良や飼料作物の優良品種の利用を推進するとともに、肉用牛の繁殖肥育一貫経営や地域内一貫生産、国産飼料の一層の増産と着実な利用の拡大のための体制整備により、畜産の生産力及び生産体制の強化を図る。

(1) 家畜能力等向上強化推進

遺伝子解析情報等を活用した新たな評価手法による生涯生産性の向上、多様性を確保した家畜の系統・品種の活用促進、肉質・繁殖能力の改良の加速化等を推進する取組を支援する。

(2) 草地生産性向上対策

不安定な気象に対応したりリスク分散等により安定的に高収量を確保するため、草地改良や飼料作物の優良品種利用の取組を支援する。

(3) 飼料生産利用体系高効率化対策

ICT等の活用により、飼料生産組織等の作業の効率化や草地基盤に立脚した生産性の高い酪農・肉用牛生産の取組を支援する。

(4) 国産飼料資源生産利用拡大対策

放牧、国産濃厚飼料、未利用資源を利用する取組を支援するとともに、有機畜産物生産の普及の取組を支援する。

4. 環境負荷軽減に向けた酪農経営支援対策

平成31年度予算概算要求額22,395百万円の内数

酪農経営における飼養規模の拡大等による環境問題に対処するため、ふん尿の還元等に必要飼料作付面積の確保を前提として酪農家が行う環境負荷軽減の取組（資源循環促進、地球温暖化防止、生物多様性保全等）を支援する。

(1) 環境負荷軽減型酪農経営支援対策（エコ酪

事業）

ふん尿の還元に必要な飼料作付面積を確保しながら環境負荷軽減に取り組んでいる酪農家に対し、飼料作付面積に応じて交付金を交付（ア）する。また、有機飼料生産の取組に交付金を追加交付（イ）する。

1) 対象者の要件

- ・飼料作付面積が北海道で40a／頭、都府県で10a／頭
- ・環境負荷軽減に取り組んでいること（9つの取組メニューから選択）

9つの取組メニュー

目的	9取組メニュー
資源循環促進	① 堆肥の適正還元の取組
	② 国産副産物の利用促進
	③ スラリー等の土中施用
	④ サイレージ生産の適正管理
地球温暖化防止	⑤ 温室効果ガス放出量削減の取組
	⑥ 化学肥料利用量の削減
	⑦ 連作防止の実施
	⑧ 放牧の実施
生物多様性保全	⑨ 農薬使用量の削減

2) 交付金単価

- ア 飼料作付面積 1.5万円／1ha
- イ 有機飼料作付面積 1.5万円＋3万円／1ha（追加交付）

(2) 環境負荷軽減型酪農経営支援対策の推進

環境負荷軽減型酪農経営支援事業の実施のための推進活動、要件確認、事業効果の測定等に必要経費に対して補助する。

5. 草地関連基盤整備＜公共＞

平成31年度予算概算要求額 10,485（前年度6,855）百万円

飼料生産基盤に立脚した力強い畜産経営の実現を図るため、畜産経営規模の拡大や畜産産地の形成に資する飼料生産の基盤整備等を推進する。

(1) 大型機械化体系に対応した草地整備

大型機械による効率的な飼料生産を推進するため、草地の整備、排水不良の改善等の整備を推進する。

【主な工種】草地の区画整理、暗渠排水等

(2) 泥炭地帯における草地の排水不良の改善

効率的な飼料生産基盤を形成するため、土壌の特殊性に起因する地盤の沈下による草地の湛水被害等に対処する整備を実施する。

【主な工種】整地、暗渠排水、排水施設等